

ユーザーマニュアル

日本語



情報オプション Perception

文書版第 1.0 号 - 2009 年 7 月

Perception 6.03 以降

HBM の規定条件については、ウェブサイト www.hbm.com/terms を参照してください。

HBM GmbH
Im Tiefen See 45
64293 Darmstadt
Germany
電話 : +49 6151 80 30
ファックス : +49 6151 8039100
電子メール : info@hbm.com
www.hbm.com/highspeed

Copyright © 2009

不許複製・禁無断転載。本出版物のどの部分も、
出版者の書面による許可なく、いかなる形式またはいかなる手段によっても、複製または転載することはできません。

使用許諾契約と保証

使用許諾契約と保証の詳細につきましては、www.hbm.com/terms を参照ください。

目次	ページ
1 情報オプション	6
1.1 はじめに	6
1.1.1 情報オプションのインストール方法	6
1.2 フィールドを追加および変更	9
1.3 フィールドのプロパティ	11
1.3.1 文字列フィールドのプロパティ	11
1.3.2 数値フィールドのプロパティ	12
1.3.3 情報を必要とするポップアップダイアログ	14
1.4 ページの取り扱い	16

1 情報オプション

1.1 はじめに

情報オプションにより、取得が完了したら直ちに永続的に保存する入力マスクに追加情報を追加することができます。入力フィールドを自由に編集し、数値や文字列のエリアを追加し、またそれらをテストの開始前に入力する必須項目にすることができます。

「Perception」のマニュアルの「情報シート」の章に説明されているように、情報オプションは基本情報シートに機能性を追加します。基本操作に関しては、その章を参照してください。この付録では、追加的なツールとオプションについて説明しています。

オプションがインストールされると、情報シートが追加的なツールを提供します。

1.1.1 情報オプションのインストール方法

Perception のソフトウェアには HASP キーが必要です。HASP (違法コピーソフトウェア防止ハードウェア) は、ソフトウェアアプリケーションの不正使用を防止するハードウェアをベースとした (ハードウェアキーによる) ソフトウェアの違法コピー防止システムです。

それぞれの HASP キーには、購入した特性とオプションに応じてアプリケーションをパーソナライズするために使用する固有の ID 番号が含まれています。このキーは、ライセンスパラメータ、アプリケーション、および顧客固有のデータを保存するためにも使用されます。

情報オプションを個別のアイテムとして購入した場合、パーソナライズされた「キーファイル」が送られます。このファイルを使用して追加機能のロックを解除してください。

ヘルプ ▶ Perception についての順に選択すれば、シリアル番号を見つけることができます。

キー情報の更新方法 :

- 1 ヘルプ ▶ キーの更新... の順に選んでください。
- 2 開くダイアログでキーファイル (*.pKey) を見つけ、開くをクリックします。
- 3 問題がなければ、以下のメッセージが表示されます。



イラスト 1.1: ソフトウェアのコピー防止ダイアログ

4 OK をクリックします。

インストールを行ったら、ヘルプ ▶ Perception について ▶ 詳細の順に選択し、すべてのオプションがインストールされているか確認してください。

変更を有効化させるために、ソフトウェアを再起動する必要があります。これで情報オプションを使用することが可能です。

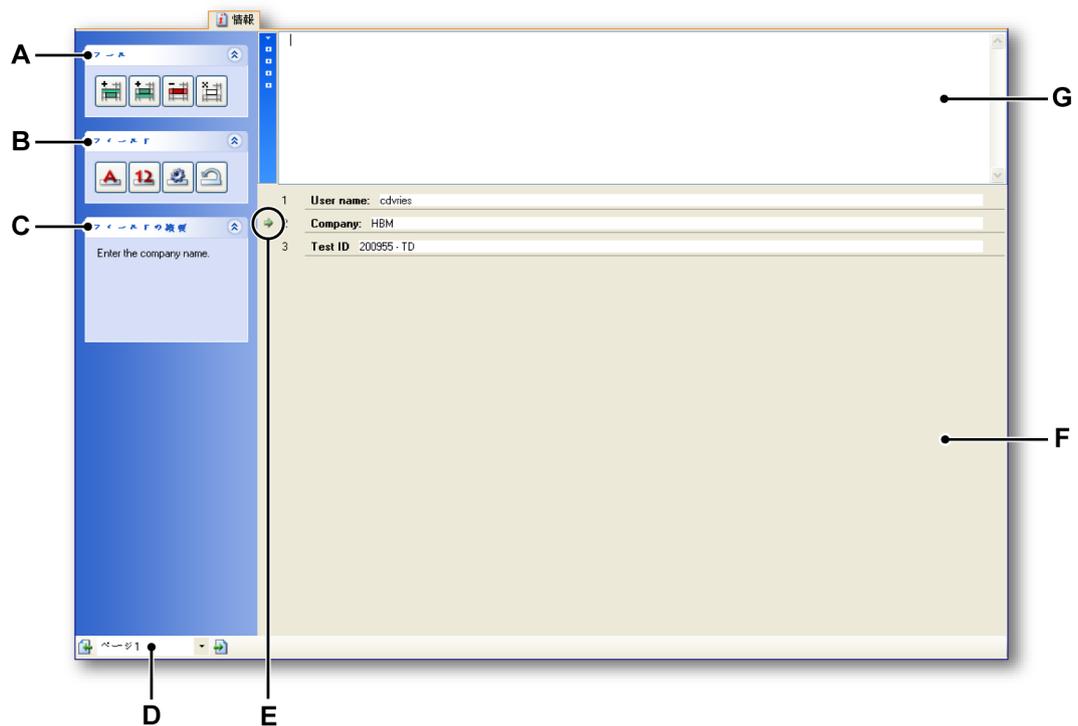


イラスト 1.2: 情報シート

- A ツール
- B フィールド
- C 選択されたフィールドに関する説明
- D ページコントロール
- E 行ポインタ
- F 入力カーソル
- G コメントエリア

A ツールツールはフィールドがある行を追加、削除、およびクリアすることを目的に提供されます。ツールは、現在選択されている行で動作します。現在選択されている行は、行ポインタによって示されます。

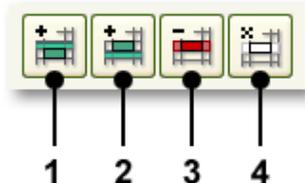


イラスト 1.3: 情報シートツール

- 1 現在の行の上に行を挿入
- 2 現在の行の下に行を挿入
- 3 行を削除
- 4 行をクリア

B フィールドフィールドボタンを使ってフィールドを追加および変更します。

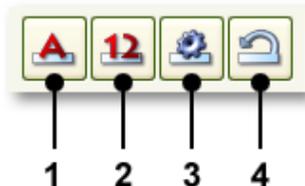


イラスト 1.4: 情報シートフィールド

- 1 文字列/文字フィールドを追加
- 2 数値フィールドを追加
- 3 選択されたフィールドのプロパティ
- 4 すべてのフィールドを復元

C **説明**ここには、選択されたフィールドの説明が示されます。説明は、フィールドのいずれかのプロパティに関するものです。

D **ページコントロール**複数のページが使用される場合における標準のページコントロール。

E **行ポインタ**行ポインタは、フィールドがある現在の/アクティブな行を示すために使用されます。

F **コメントエリア**コメントのフィールドは編集することができます。コメントには文字と変数を使用することができます。

G **入力一覧**これは、入力フィールドが存在するエリアです。各フィールドは単一の行に存在します。行は「データベース」の中で行として編成されます。行ポインタは、現在の/アクティブな行とフィールドを示すために使用されます。

1.2 フィールドを追加および変更

フィールドをフィールド一覧に追加することができます。あるフィールドを追加するときは、そのフィールドのプロパティを設定します。必要に応じて、フィールドのプロパティを後で変更することができます。

フィールドには、文字列と数値という二つの種類があります。フィールドは、現在の行の上または下に追加されます。定義されたフィールドは、Perception のデータソースの一部を形成します。

フィールドの追加方法：

フィールドのある行を追加するには、以下の手順に従ってください。

- 1 入力フィールドの一覧にある行をクリックして選択します。
 - 行ポインタがその行に移動します。
- 2 適切なツールをクリックします。
 - 上に行を挿入  を使って、現在選択されている行の上に行を挿入します。
 - 下に行を挿入  を使って、現在選択されている行の下に行を挿入します。
 - 空白の行が挿入されます。
- 3 適切なフィールドボタンをクリックします。
 - 文字列フィールドを生成  を使って、テキスト入力のためのフィールドを追加します。
 - 数値フィールドを生成  を使って、数値を入力するためのフィールドを追加します。
- 4 対応するダイアログで設定を行ってください。
- 5 終わったら、OK をクリックします。

フィールドの変更方法：

すでに定義されているフィールドのプロパティを変更するには、以下の手順に従ってください。

- 1 変更したいフィールドのある入力フィールド一覧で行をクリックしてください。
 - 行ポインタがその行に移動します。
- 2 プロパティ  のボタンをクリックします。
- 3 対応するダイアログで設定を行ってください。
- 4 終わったら、OK をクリックします。

フィールドの削除方法：

以下を実施してください。

- フィールドと対応する行を削除するには、**選択した行を削除**  ツールをクリックしてください。
- フィールドを削除するが行は削除しない場合は、**選択した行をクリア**  ツールをクリックしてください。
- 確認ダイアログが表示されたら **OK** をクリックしてください。

すべてのフィールドの復元方法：

外部ファイルから情報を読み込んだ後、データソースの一覧を更新しなければなりません。読み込み情報の詳細については、「Perception」のマニュアルの「情報と設定/読み込みに関する情報」の章を参照してください。

以下を実施してください。

- **すべてのフィールドを復元**  ツールをクリックしてください。

1.3 フィールドのプロパティ

フィールドを追加または変更する場合、プロパティのダイアログが表示されます。このダイアログは、変数そのものとシート内における動作を定義します。

1.3.1 文字列フィールドのプロパティ

文字列フィールドのプロパティは、文字列フィールドの内容と動作を定義します。

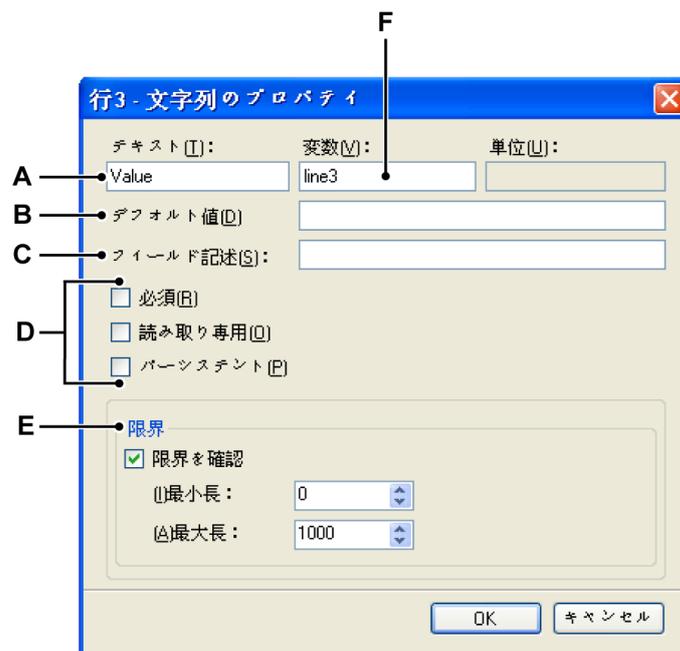


イラスト 1.5: 文字列フィールドのプロパティ

- A フィールドのラベル
- B デフォルト値
- C 記述
- D フィールドのオプション
- E 限界
- F 関連する変数

- A **フィールドのラベル**この入力は、入力ボックスの前のフィールド行に表示されるものとしてテキストを定義します。
- B **デフォルト値**これは、当初表示される値/文字列です。デフォルト値はイタリック体で表示されます。値を変更し、その後で正確な値をデフォルト値として入力すると、デフォルト値はイタリック体で再度表示され、デフォルトの状況を示します。

- C **フィールドの説明**フィールドが選択されているときに、情報シートの左側にあるタスクペインの「フィールドの説明」の部分に示されるテキストを入力します。
- D **フィールドオプション**以下のオプションを1つ以上選択します。
 - **必須取得**を開始するためのデータがフィールドに含まなければならないことを示します。値が入力されていなければ取得は開始されず、この状況で取得が要求されるとポップアップダイアログが表示されます。
 - **読み取りのみ**情報としてのみ使用され、変更することはできない値についてはこのオプションを選択します。
 - **パーシステント**読み込んだファイルから派生した変数の変更値を保存した場合は、このオプションを選択してください。例えば、あるファイルを読み込む場合、変数とその内容が読み込まれます。値を変更してファイルを再度読み込む場合、パーシステントを選択していないと変更された値は読み込まれる値に置き換えられます。
- E **制限値**制限値に対する入力をテストしたい場合はこのオプションを選択してください。テキスト文字列の場合、制限値はテキストの最小および最大の長さとなります。
- F **変数関連**する変数の名前です。変数は Perception データソースの一部となり、データソースナビゲータのアクティブ (Active) > 情報 (Information) に存在します。

1.3.2 数値フィールドのプロパティ

数値フィールドのプロパティは、数値フィールドの内容と動作を定義します。ダイアログは、文字列フィールドのプロパティダイアログに類似しています。

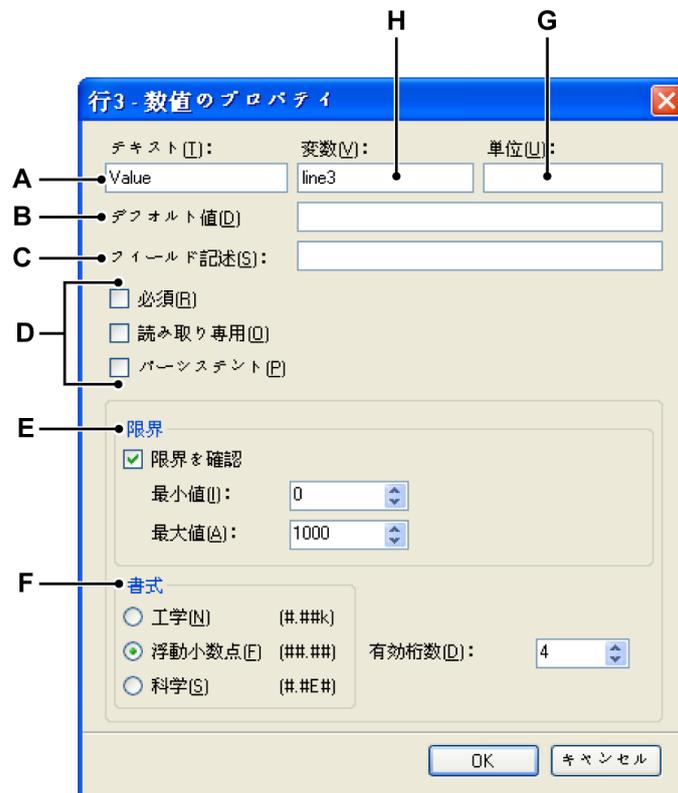


イラスト 1.6: 数値フィールドのプロパティ

- A フィールドのラベル
- B デフォルト値
- C 記述
- D フィールドのオプション
- E 限界
- F 数式フォーマット
- G 単位
- H 関連する変数

- A **フィールドのラベル**この入力は、入力ボックスの前のフィールド行に表示されるものとしてテキストを定義します。
- B **デフォルト値**これは、当初表示される値です。デフォルト値はイタリック体で表示されます。値を変更し、その後で正確な値をデフォルト値として入力すると、デフォルト値はイタリック体で再度表示され、デフォルトの状況を示します。
- C **フィールドの説明**フィールドが選択されているときに、情報シートの左側にあるタスクペインの「フィールドの説明」の部分に示されるテキストを入力します。

D フィールドオプション以下のオプションを1つ以上選択します。

- 必須取得を開始するためのデータがフィールドに含まれないことを示します。値が入力されていなければ取得は開始されず、この状況で取得が要求されるとポップアップダイアログが表示されます。
- 読み取りのみ情報としてのみ使用され、変更することはできない値についてはこのオプションを選択します。
- パーシステント読み込んだファイルから派生した変数の変更値を保存した場合は、このオプションを選択してください。例えば、あるファイルを読み込む場合、変数とその内容が読み込まれます。値を変更してファイルを再度読み込む場合、パーシステントを選択していないと変更された値は読み込まれる値に置き換えられます。

E 制限値制限値に対する入力をテストしたい場合はこのオプションを選択してください。数字の場合、制限値はその数字の最小および最大の値となります。

F フォーマット複数の出力フォーマットから選択することができます。

- 工学表記：10の累乗が3の倍数である科学表現。10の累乗は、 10^3 や 10^{-3} などの接頭辞によって表現されます。
- 浮動小数点：小数を伴い、固定「レイアウト」のない数。
- 科学表記：非常に大きな数や非常に小さな数を書き表すための省略表現。科学表記で表現される数は、1と10の間の小数に、10の累乗を掛けたものとして表現されます。

各出力フォーマットについて、必要な桁数を選択することができます。

G 単位変数の単位を入力します。

H 変数関連する変数の名前です。変数は Perception データソースの一部となり、データソースナビゲータのアクティブ (Active) > 情報 (Information) に存在します。

1.3.3 情報を必要とするポップアップダイアログ

Perception を使用するとき、ユーザーはプロジェクトに関する特定の情報を入力するように求められることがあります。取得が開始する前に、特定のフィールドにデータや重要な情報を入力する必要がある場合。フィールドメニューのプロパティボタンをクリックし、フィールド名を右クリックし、フィールドを開いてプロパティを選択し、行<x>ダイアログボックスのプロパティにあるチェックボックス必須を選択します。

ノート データへの入力が行われる前にユーザーに伝えるために制限値やデータのフォーマットを示す必要がある場合は、フィールドの説明とフィールド名を適切に入力します。

指定内容に合致した入力がデータフィールドに行われていない状態で取得を開始しようとする、ポップアップダイアログが表示されます。このダイアログには、誤った種類のデータが入力されていること、データが指定内容や制限値に合致していないこと、あるいは必要な場所にデータが入力されていないことなどが示されます。

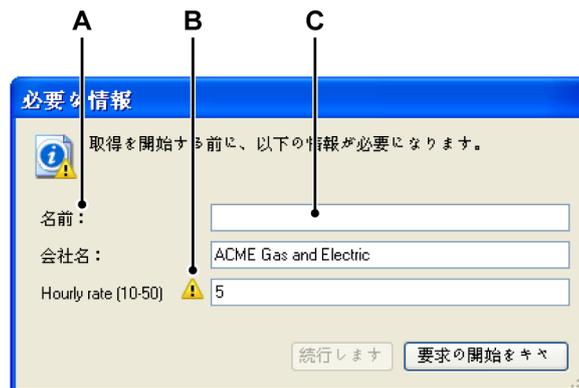


イラスト 1.7: 必要が必要とされるダイアログ

- A フィールド説明テキスト
- B フィールド入力のエラー
- C フィールド名プロンプトテキスト (未入力)

ノート *必須情報*ボックスのサイズを変更して、フィールドの入力範囲をより長くすることができます。

アクティブな状態を継続させるには、すべてのフィールドに適切な入力が行われなければなりません。継続をクリックすると、取得が開始します。

1.4 ページの取り扱い

他の場合と同様に、情報シートを使用することで個々の情報を用いたページを複数作成することができます。

情報シートによるページの取り扱いは、ページの追加と削除、ページの段階的な移動という基本的な機能に限定されています。

ページの追加方法：

- **情報 ▶ ページの追加**の順に選択するか、使用可能な場合はツールバーにあるページの追加  ボタンをクリックしてください。ページはページ一覧の最後に追加されます。

ページの削除方法：

- 1 **情報 ▶ ページの削除**の順に選択するか、使用可能な場合はツールバーにあるページの削除  ボタンをクリックしてください。
- 2 確認ダイアログの **OK** をクリックしてください。
 - 現在のページが削除されます。
 - ページの一覧に再ナンバリングが行われます。

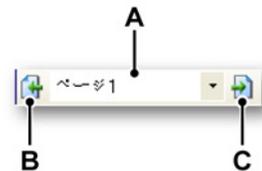


イラスト 1.8: 情報シートページのコントロール

- A ページフィールド
- B 前のページ
- C 次のページ

ページを移動していくには、**次のページ**ボタンと**前のページ**ボタンをクリックします。さらに、ページフィールドで行うことができます。

- **単一クリック**：ドロップダウンリストには、利用可能なすべてのページが表示されます。現在アクティブなページはハイライト表示されます。リスト内のページ名をクリックすると、直接そのページにジャンプします。

索引

は

はじめに 6

*

ツール 8

フィールド 8

 フィールドの変更 9

 フィールドの復元 10

 フィールドの追加 9

フィールドのプロパティ 11

 数値 12

 文字列 11

ページ 16

 削除 16

 追加 16

使用許諾契約 3

保証 3

情報シート

 延長 (オプション) 6

Head Office

HBM

Im Tiefen See 45
64293 Darmstadt
Germany
Tel: +49 6151 8030
Email: info@hbm.com

France

HBM France SAS

46 rue du Champoreux
BP76
91542 Mennecy Cedex
Tél: +33 (0)1 69 90 63 70
Fax: +33 (0) 1 69 90 63 80
Email: info@fr.hbm.com

Germany

HBM Sales Office

Carl-Zeiss-Ring 11-13
85737 Ismaning
Tel: +49 89 92 33 33 0
Email: info@hbm.com

UK

HBM United Kingdom

1 Churchill Court, 58 Station Road
North Harrow, Middlesex, HA2 7SA
Tel: +44 (0) 208 515 6100
Email: info@uk.hbm.com

USA

HBM, Inc.

19 Bartlett Street
Marlborough, MA 01752, USA
Tel : +1 (800) 578-4260
Email: info@usa.hbm.com

PR China

HBM Sales Office

Room 2912, Jing Guang Centre
Beijing, China 100020
Tel: +86 10 6597 4006
Email: hbmchina@hbm.com.cn

© Hottinger Baldwin Messtechnik GmbH. All rights reserved.
All details describe our products in general form only.
They are not to be understood as express warranty and do
not constitute any liability whatsoever.

measure and predict with confidence

